

地域体験活動「地域の人、自然、ものとふれあおう」

熊本県阿蘇市

活動名

内牧小学校学校支援地域本部

関係する学校

内牧小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
			285人	25年度	無	無	無	無
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		1人	63人	22年度	有	有	無	無
放課後子供教室		コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		1人	40人	49日	有	無	無	無
		実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携		
コミュニティ・スクール		多目的室、運動場			20年度	連携なし		
		指定日			委員数	児童生徒数	学級数	
		平成27年3月17日			10人	289人	14学級	

活動の概要・経緯

- 地域住民とのふれあいを通して、地域の歴史や伝統文化、自然を学ぶために、14地区あるそれぞれの地域に出かけ、地域の良さを体感し、ふるさとを誇りに思う児童を育てる。
- 阿蘇市が土曜授業の試行として平成25年度より実施されている。土曜授業を活用して平成25年9月から毎年地域住民による運営で行われている。

特徴

【特徴的な活動内容】

○14地区に別れて主に次のような活動が行われている。成川の虎舞、野焼きに使う火消し棒づくり、わら草履づくり、地域の史跡めぐり、竹馬や竹とんぼ、水鉄砲などの昔遊び、菅原神社の音隊練習、田子山登山、グランドゴルフ、河川の生物調査など、地域の特色を生かして実践が行われている。

【実施に当たっての工夫】

○実施に当たっては、分館長、区長代表、PTA代表等による地域体験活動推進委員会において本活動で育てたい子ども像や地域づくりを明確にし、14地区ごとに実行委員会（区長、地区長、PTA地域体験推進委員等）で活動の内容、場所、役割等を話し合い、地域の歴史や伝統文化、自然等を児童に伝えるなど、児童の意見等も取り入れながら実践している。運営はすべて地域住民や保護者である。

事業を実施して

○地域体験活動への満足度は児童よりも保護者、保護者よりも地域住民であった。特に、地域住民は100%の満足度であった。地域住民からは、地域のすばらしさを伝えたいという思いが伝わり、子供たちとふれあうことで元気をもらった、地域の子供を身近に感じられたという感想が出された。また、保護者においては身近な地域に歴史や伝統文化などを発見することができ、地域のすばらしさを体験できたことに満足している。

○成川の虎舞は11年ぶりに行われ、保存会を中心に復活していく動きがあるなど、地域の活性化になり、地域づくりに灯がついた。

○地域住民と保護者、子供たちとの距離が近くなったという感想もあり、地域の子供は地域で育てようという雰囲気醸成されてきた。

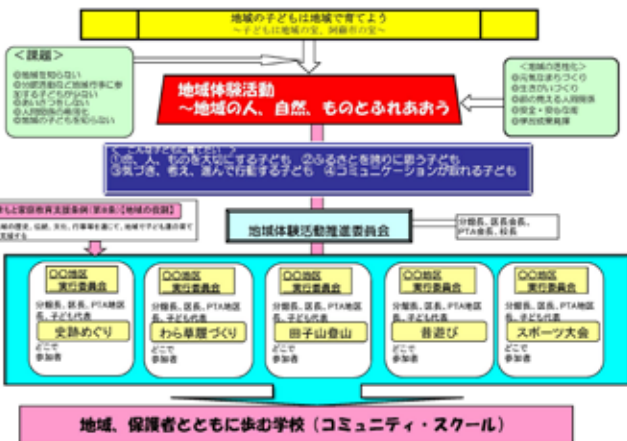
その他

○域内の学校で、内牧小学校での取組を参考に、学校や地域の実態に応じた地域体験活動が行われるなど広がりが見られる。

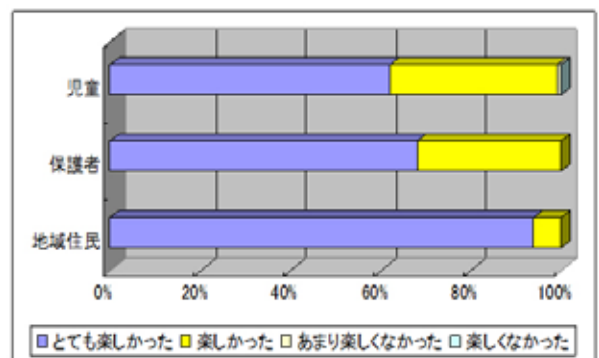
○今後近隣の学校との統合が予想されており、統合された後での地域体験活動を実践することで地域とのつながりの継続性が期待される。

○平成25年、26年の実践集を別冊にまとめ、関係者へ配布して、実践を広げたり、ネットワークの構築を図ったりしている。

○学習支援としては、1・2・3年生の基礎学力向上のための丸付け支援やミシンの学習支援、習字の学習支援等がある。



地域体験活動体系図



地域体験活動に参加して